

アンケートに寄せられた
バスのデマンド運行とは何か
バスデマンド運行のなぞに迫る。

第4回

公共交通体系を考える

バ

スのデマンド運行という聞きなれない言葉が先般のアンケートに寄せられました。「デマンド＝demand」とは「要求する」という意味の英単語で、つまり利用者の要求（予約）に応じて運行する形態を言い、日本語では「需要応答型交通」と呼ばれています。

このデマンド運行には利用の予約があったときだけ「定まった路線に定まった乗降場を定まったダイヤ」で運行する路線バスに近いものから、利用（予約）者の「自宅から目的地まで戸口から戸口（Door to Door）」に、利用者の希望する時間に運行するタクシーに近いものまであります。バスデマンド運行の種類は「路線」「ダイヤ」「乗降場」が定まっているか定まっていなかなどの組み合わせで決まります。

特

徴は、バスデマンド運行の種類を問わず「利用者がないときは運行しない」ことで、車両の回送を除き、いわゆる空バスの運行がなくなるのが最大の特徴で、1便あたりの収支が改善します。（ただし完全に予

約がない場合は、車両や運転手は車庫に待機することになります）

また利点として、デマンド運行の種類によっては自宅や自宅付近からの乗降が可能になります。

逆に欠点は、乗車するために前もって電話などで予約しなければならず、予約の変更やキャンセルにも連絡が必要となることです。

このほかデマンド運行の種類によっては運行時間（バスが到着する時間や乗ってから目的地に着くまでの乗車時間）が路線バスに比べてあいまいになることも欠点のひとつです。



鳥取県内においては伯耆町や日南町などで、バスのデマンド運行を行っています。

大山町でも、持続可能な公共交通体系を模索する上で、バスのデマンド運行を検討しています。

◆ご意見・問い合わせ先

企画情報課

☎ 0859・54・5202

E-mail kikaku@daisen.jp